

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【公開番号】特開2005-103929(P2005-103929A)

【公開日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-016

【出願番号】特願2003-340290(P2003-340290)

【国際特許分類】

B 4 1 J 21/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 21/00 A

G 0 6 F 3/12 F

G 0 6 F 3/12 G

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月21日(2006.6.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

数行程度の入力文字列に対し、少なくとも前罫、後罫、上罫、下罫の要素を含む枠形状の付与機能を有する小印刷物作成装置において、

少なくとも上記前罫要素及び又は上記後罫要素として、上記入力文字列の文字要素として入力し得るものから任意の1文字を指定させる枠要素任意指定手段と、

印刷指令時に、上記前罫要素及び又は上記後罫要素として、上記枠要素任意指定手段によって任意指定された文字要素1文字分をドット展開する任意枠要素展開手段と有することを特徴とする小印刷物作成装置。

【請求項2】

上記枠要素任意指定手段は、上記前罫要素及び又は上記後罫要素の指定として、その枠要素なしをも指定させ得ることを特徴とする請求項1に記載の小印刷物作成装置。

【請求項3】

上記枠要素任意指定手段は、上記上罫要素及び又は上記下罫要素の線種を指定させることができ、

上記任意枠要素展開手段は、上記枠要素任意指定手段によって任意指定された線種に応じ、上記上罫要素及び又は上記下罫要素の部分に関するドット展開を行うことを特徴とする請求項1又は2に記載の小印刷物作成装置。

【請求項4】

数行程度の入力文字列に対し、少なくとも前罫、後罫、上罫、下罫の要素を含む枠形状の付与機能を有する小印刷物作成方法において、

枠要素任意指定手段及び任意枠要素展開手段を備え、

少なくとも上記前罫要素及び又は上記後罫要素として、上記入力文字列の文字要素として入力し得るものから任意の1文字を指定させる上記枠要素任意指定手段が実行する枠要素任意指定工程と、

印刷指令時に、上記前罫要素及び又は上記後罫要素として、上記枠要素任意指定工程によって任意指定された文字要素1文字分をドット展開する上記任意枠要素展開手段が実行

する任意枠要素展開工程と

を含むことを特徴とする小印刷物作成方法。

【請求項 5】

上記枠要素任意指定工程は、上記前罫要素及び又は上記後罫要素の指定として、その枠要素なしをも指定させ得ることを特徴とする請求項4に記載の小印刷物作成方法。

【請求項 6】

上記枠要素任意指定工程は、上記上罫要素及び又は上記下罫要素の線種を指定させることができ、

上記任意枠要素展開工程は、上記枠要素任意指定工程によって任意指定された線種に応じ、上記上罫要素及び又は上記下罫要素の部分に関するドット展開を行う

ことを特徴とする請求項4又は5に記載の小印刷物作成方法。

【請求項 7】

数行程度の入力文字列に対し、少なくとも前罫、後罫、上罫、下罫の要素を含む枠形状の付与機能を有する小印刷物作成プログラムにおいて、

コンピュータを、

少なくとも上記前罫要素及び又は上記後罫要素として、上記入力文字列の文字要素として入力し得るものから任意の1文字を指定させる枠要素任意指定手段と、

印刷指令時に、上記前罫要素及び又は上記後罫要素として、上記枠要素任意指定手段によって任意指定された文字要素1文字分をドット展開する任意枠要素展開手段と
して機能させることを特徴とする小印刷物作成プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

かかる課題を解決するため、第1の本発明の小印刷物作成装置は、数行程度の入力文字列に対し、少なくとも前罫、後罫、上罫、下罫の要素を含む枠形状の付与機能を有するものであって、(1)少なくとも上記前罫要素及び又は上記後罫要素として、上記入力文字列の文字要素として入力し得るものから任意の1文字を指定させる枠要素任意指定手段と、(2)印刷指令時に、上記前罫要素及び又は上記後罫要素として、上記枠要素任意指定手段によって任意指定された文字要素1文字分をドット展開する任意枠要素展開手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

また、第2の本発明の小印刷物作成方法は、数行程度の入力文字列に対し、少なくとも前罫、後罫、上罫、下罫の要素を含む枠形状の付与機能を有するものであって、枠要素任意指定手段及び任意枠要素展開手段を備え、(1)少なくとも上記前罫要素及び又は上記後罫要素として、上記入力文字列の文字要素として入力し得るものから任意の1文字を指定させる上記枠要素任意指定手段が実行する枠要素任意指定工程と、(2)印刷指令時に、上記前罫要素及び又は上記後罫要素として、上記枠要素任意指定工程によって任意指定された文字要素1文字分をドット展開する上記任意枠要素展開手段が実行する任意枠要素展開工程とを含むことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

第3の本発明の小印刷物作成プログラムは、数行程度の入力文字列に対し、少なくとも前罫、後罫、上罫、下罫の要素を含む枠形状の付与機能を有する小印刷物作成プログラムであって、コンピュータを、少なくとも上記前罫要素及び又は上記後罫要素として、上記入力文字列の文字要素として入力し得るものから任意の1文字を指定させる枠要素任意指定手段と、印刷指令時に、上記前罫要素及び又は上記後罫要素として、上記枠要素任意指定手段によって任意指定された文字要素1文字分をドット展開する任意枠要素展開手段として機能させることを特徴とする。